



H.I.S. Business Report

第28期（平成19年11月1日から平成20年10月31日まで）

株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月
基準日	毎年10月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物の送付先または連絡先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 ☎0120-176-417
	<p>※株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡ください。</p> <p>※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。</p>
ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
公告方法	電子公告（電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う）

IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ（<http://www.his.co.jp>）で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

単元未満株式の取扱い買取及び買増制度

単元未満株式（100株未満の株式）をご所有の場合、当社に対して買取請求（売却する）及び買増請求（買増して1単元の株式（100株）にする）ができます。お手続の詳細は、株主名簿管理人の事務取扱場所にお問い合わせ下さい。（証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にお問い合わせ下さい。）

株主様ご優待のお知らせ

当社商品にご利用いただける株主優待券を、株主の皆様にご用意しております。対象は、毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿及び実質株主名簿にご記載のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様となります。



※100株以上 …… 1枚
500株以上 …… 2枚
1,000株以上 …… 3枚

今回お送りする株主優待券は来年（平成22年）の1月31日までご利用になれます。

また、ご利用にあたっては、当社の商品券「SKY」と併用することも、ご予約された営業所にご郵送いただいでご利用することもできます。

CONTENTS

連結財務ハイライト 1

株主の皆様へ 2

連結財務諸表 3

個別財務諸表 5

トピックス 6

会社概要 10

株主メモ 11

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

皆様にH.I.S. Business Reportをお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社第28期(平成19年11月1日から平成20年10月31日まで)を振り返りますと、世界経済の先行きに対する不安感や原油価格高騰などの影響により、景気に減速感がみられる中で、海外旅行は、燃油特別付加運賃の相次ぐ値上げによる割高感が生じ、これまでマーケットを牽引してきた中国向けが食品安全問題や四川大地震の影響により減少し、平成19年11月から平成20年10月にかけての日本人出国者数は、前年同期比約6.2%減(約108万4千人減)の約1,628万8千人と前年を大きく下回る結果となりました(日本政府観光局(JNTO)による推計値)。

このような経営環境の中で、旅行事業におきましては、支払い額がわかりにくいというお客様のご意見にお応えし、燃油特別付加運賃を含めた合計額を表記して販売するなど、お客様の視点に立った商品造成とサービスを心がけ、積極的なプロモーションを実施してまいりました。また、景気の動向を反映した法人・企業様の出張経費見直しは、法人旅行部門の新規契約受注を後押しする形となりました。

一方、ホテル事業におきましては、事業を展開しているオーストラリア国内やアジア方面からの予約が好調に推移したほか、スパなどの新規事業も好評であり、ゴールドコースト・ブリスベンの両ホテル共に高稼働率を維持しております。

以上のように積極的な営業施策を展開いたしましたが、燃油特別付加運賃の負担増などによる海外旅行需要低迷の影響を挽回するまでには至らず、当社グループの業績は売上高3,683億84百万円(前期比1.7%増)、営業利益は59億2百万円(同7.2%減)、経常利益は62億4百万円(同17.4%減)、当期純利益は24億87百万円(同45.0%減)となりました。

今後の経済の動向を展望しますと、ここ暫くは世界規模で予断を許さない状況が続くものと見込まれ、海外旅行の需要もその影響を受けるとともに、お客様が旅行会社を選別する基準も一層厳しいものになってゆくと予想されます。

このような見通しのもとに、当社グループは主力の旅行事業においては、お客様の多様化してゆく需要にお応えするために、スタッフの業務知識と接客やサービスの向上を図る社内教育や研修を引き続き充実し強化させるとともに、グローバルな事業展開を担えるような人材の継続的な確保と育成にも力を注いでまいります。

旅行商品の造成や情報提供の面でも、これまで以上にお客様の「安心・安全」を心がけ、その「品質の向上」を進めてゆきます。また、大手旅行会社やインターネット販売に特化した旅行会社など、競合他社との競争は激しさを増しておりますが、業界や各社の動向を見極め、商品開発やお客様対応など常にトップスピードを意識した営業展開を行い、確固たるシェア獲得を目指してまいります。さらに、団体・法人様向けの販売につきましても、大都市圏はもとより、潜在需要が見込める地域へも積極的な営業を図り、お客様の新規開拓に邁進いたします。

ホテル事業に関しましては、昨年12月に「ウォーターマークホテル札幌」を開業いたしました。このホテルは当社グループが運営する3番目のホテルであり、日本では初めての展開となります。オーストラリアでの既存の2つのホテルとともに、高品質のサービスの提供を行い、高い客室稼働率を達成して、安定した収益の確保に努めてまいります。

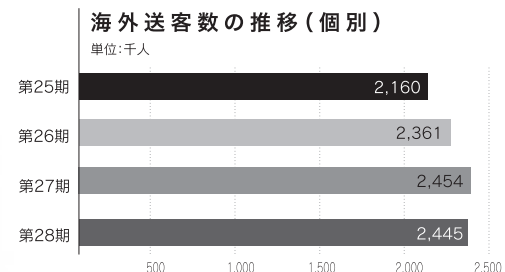
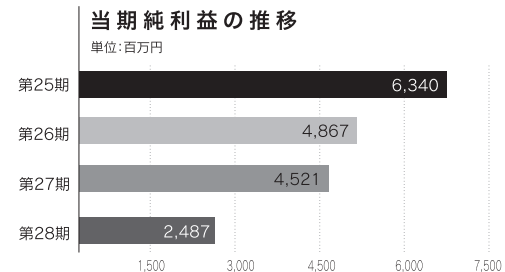
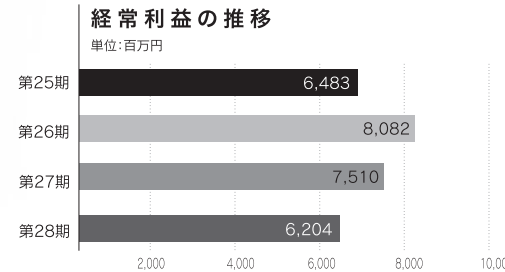
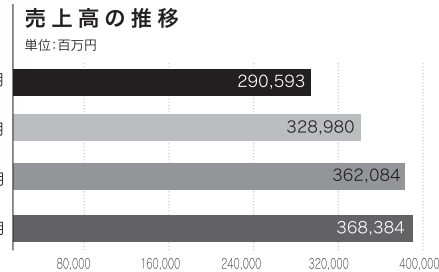
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成21年1月

代表取締役社長

平林 朗



連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成20年10月31日現在)		(単位:百万円)	
科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	78,911	流動負債	56,504
現金及び預金	43,555	営業未払金	16,362
売掛金	5,652	一年以内返済予定長期借入金	158
営業未収入金	9,683	未払金	966
有価証券	1,038	未払費用	1,586
繰延税金資産	5,684	未払法人税等	289
旅行前払金	10,336	未払消費税等	362
前払費用	856	旅行前受金	24,926
短期貸付金	45	賞与引当金	2,114
関係会社短期貸付金	69	役員賞与引当金	53
その他	2,019	短期積立付与引当金	3
貸倒引当金	△29	為替予約	7,763
		その他	1,916
固定資産	24,835	固定負債	2,032
有形固定資産	8,238	長期借入金	50
建物	5,597	繰延税金負債	3
器具及び備品	794	退職給付引当金	1,425
土地	1,742	役員退職慰労引当金	418
その他	104	長期積立付与引当金	2
		その他	132
無形固定資産	1,487	負債合計	58,536
投資その他の資産	15,109	純資産の部	
投資有価証券	4,922	株主資本	47,092
関係会社株式	3,131	資本金	6,882
関係会社出資金	27	資本剰余金	7,782
長期貸付金	403	利益剰余金	34,946
関係会社長期貸付金	1,020	自己株式	△2,519
長期前払費用	19	評価・換算差額等	△2,281
差入保証金	4,549	その他有価証券評価差額金	△181
繰延税金資産	944	繰延ヘッジ損益	△4,582
その他	232	為替換算調整勘定	2,483
貸倒引当金	△143	少数株主持分	399
資産合計	103,746	純資産合計	45,210
		負債純資産合計	103,746

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成19年11月1日から平成20年10月31日まで)		(単位:百万円)	
科目	金額	科目	金額
売上高	368,384		
売上原価	315,874		
売上総利益	52,510		
販売費及び一般管理費	46,607		
営業利益	5,902		
営業外収益	1,343		
営業外費用	1,041		
経常利益	6,204		
特別利益	72		
特別損失	3,676		
税金等調整前当期純利益	2,600		
法人税、住民税及び事業税	1,379		
法人税等調整額	△1,309		
少数株主利益	42		
当期純利益	2,487		

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (平成19年11月1日から平成20年10月31日まで)		(単位:百万円)									
科目	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	総資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年10月31日 残高	6,882	7,782	33,391	△1,563	46,493	△405	△1,183	3,063	1,475	410	48,379
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△661		△661					—	△661
当期純利益			2,487		2,487					—	2,487
連結子会社増加に伴う減少額			△271		△271					—	△271
自己株式の取得				△955	△955					—	△955
自己株式の処分		0		0	0					—	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	223	△3,399	△580	△3,756	△11	△3,768
連結会計年度中の変動額合計	—	0	1,554	△955	598	223	△3,399	△580	△3,756	△11	△3,169
平成20年10月31日 残高	6,882	7,782	34,946	△2,519	47,092	△181	△4,582	2,483	△2,281	399	45,210

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成19年11月1日から平成20年10月31日まで)		(単位:百万円)	
科目	金額	科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,392		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,035		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,636		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△645		
現金及び現金同等物の増減額	△7,925		
現金及び現金同等物の期首残高	38,995		
連結子会社増加による現金及び現金同等物の期首残高	9		
現金及び現金同等物の期末残高	31,080		

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

個別貸借対照表 (平成20年10月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	65,520	流動負債	51,842
現金及び預金	32,092	営業未払金	14,241
売掛金	5,083	旅行前受金	23,124
営業未収入金	8,035	その他	14,477
有価証券	1,038	固定負債	1,763
旅行前払金	9,574	負債合計	53,605
その他	9,695	純資産の部	
固定資産	25,241	株主資本	41,919
有形固定資産	1,697	資本金	6,882
建物	936	資本剰余金	7,782
車輛	1	利益剰余金	29,773
器具及び備品	523	自己株式	△2,519
土地	235	評価・換算差額等	△4,763
無形固定資産	1,144	純資産合計	37,156
投資その他の資産	22,400	負債純資産合計	90,762
資産合計	90,762		

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別損益計算書 (平成19年11月1日から平成20年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	325,428
売上原価	284,563
売上総利益	40,865
販売費及び一般管理費	36,695
営業利益	4,169
営業外収益	916
営業外費用	955
経常利益	4,130
特別利益	45
特別損失	5,669
税引前当期純損失	1,493
法人税、住民税及び事業税	754
法人税等調整額	△1,316
当期純損失	930

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 (平成19年11月1日から平成20年10月31日まで) (単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等			純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計			
	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計							
平成19年10月31日残高	6,882	7,778	3	7,782	246	25,565	5,555	31,366	△1,563	44,467	△407	△1,183	△1,590	42,877
事業年度中の変動額														
剰余金の配当				—		△661	△661		△661					△661
別途積立金の積立				—	2,000	△2,000	—		—					—
当期純損失				—		△930	△930		△930					△930
自己株式の取得				—		—	—	△955	△955					△955
自己株式の処分			0	0		—	—	0	0					0
株式資本以外の項目の当期変動額(純額)				—		—	—	—	—	226	△3,399	△3,173	△3,173	△3,173
事業年度中の変動額合計	—	—	0	0	—	2,000	△3,592	△1,592	△955	△2,547	226	△3,399	△3,173	△5,720
平成20年10月31日現在	6,882	7,778	3	7,782	246	27,565	1,962	29,773	△2,519	41,919	△180	△4,582	△4,763	37,156

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

新キャラクター、
まえだまえださんCM初出演!



新CMキャラクターにまえだまえださん(人気急上昇の少年漫オコソビ)を起用し、5月のTV-CMを首都圏で順次オンエアしました。夏休みの家族旅行向け商品の印象を、特にお子様を持つ方々に強くアピールすることを狙って、若い方から年配の方まで幅広い層と良好なコミュニケーションを図れるキャラクターとしての起用です。まえだまえださんがTV-CMに出演するのは当社が初めてで、「燃油代コミコミ篇」「ファミリー篇」の2種類のTV-CMで当社のお得な商品をアピールしていただきました。

エド・はるみさん起用の
TV-CMオンエア



夏の恒例セール「H.I.S.スーパーサマーセール第一弾」に、エド・はるみさん出演のTV-CMを関東圏でオンエアしました。このセールでは、お客様が旅行計画をたてやすいように旅行代金に燃油特別付加運賃を含めて表示し、しかもツアー代金を当社企業努力により値下げして、旅行代金の総額がお得になる商品をセール期間限定で発売し、エド・はるみさんのTV-CMと合わせてお客様に海外旅行をお選びいただけるよう努めてまいりました。

H.I.S.いい旅研究室プロジェクト発進! 中尾彬・池波志乃ご夫妻がCM初共演!



お客様の“いい旅”を実現するため、平成20年4月に新しく設置した【いい旅研究室】。6月から活動を本格的に開始しました。プロジェクト第1弾として、俳優の中尾彬さん・池波志乃さんご夫妻のTV-CM初共演となる「合計金額表記篇」「他社ツアーお薦め篇」を作成し(いずれもH.I.S.が“いい旅”に近づく施策と考えています)、好評を得ました。

- H.I.S.では、
- ①旅行代金の「合計金額表示」をはじめています。
 - ②他社様のツアーをお薦めすることもあります。

新商品【Jimo旅(ジモタビ)】発売



H.I.S.海外支店に勤務する地元スタッフのお勧めやこだわり、現地の流行を取り入れたツアーを5方面11コース作成し、【Jimo旅(ジモタビ)】と名付けて、平成20年7月よりホームページ予約限定で発売を開始いたしました。この【Jimo旅(ジモタビ)】は、ガイドブック等ではあまり紹介されていない、それでいてH.I.S.の海外支店に勤務する現地に精通した地元スタッフならではの海外現地発の提案型ツアーです。ツアーのテーマは①贅沢、②体験、③感動、④癒し、のいずれかに設定され、各ツアーはテーマに沿った内容で構成されています。

海外レンタカー日本払いプランの オンライン予約サイトオープン



多様化するお客様のニーズにお応えするため、海外レンタカーの日本払いプランのオンライン予約サイト(旅行会社としては初めてであり、24時間の空車照会と予約が可能)を平成20年8月にオープンいたしました。まずは、Hertz(ハーツ)レンタカーのハワイ、グアム・サイパン、アメリカ・カナダ、オセアニア、ヨーロッパの主要都市が対象です。日本払いプランは、言葉の通じない海外でレンタカーの保険や税金などの煩雑な手続きをすることなく、事前に日本で確認ができる非常に便利なプランです。自由旅行のお客様がより便利に気軽にレンタカーをご利用いただけることで、旅の目的が叶いやすくなることを願っています。

中国海南省初の日中合併旅行会社 「秀之旅(海南)国際旅行社有限公司」設立



〈海南島イメージ〉

上海航空グループの上海航空假期旅行社有限公司と合併で、秀之旅(海南)国際旅行社有限公司を中国・海南(ハイナン)島に設立致しました。海南島は、中国最南端に浮かぶ美しい自然の残るリゾート地で近年、新たなアジアのビーチリゾートとして注目を浴びています。H.I.S.では平成18年からゴールデンウィークや夏休みなど海外旅行のピークシーズンにチャーター便を日本各地から就航してきました。H.I.S.では、日本から近いリゾートとして、今後ファミリーやゴルフプレイヤーなど様々な需要の高まりを見込んでおります。

海外にも新たに9拠点がオープン！ 広がるグローバルネットワーク



〈ミラノイメージ〉

今年度も、新たな観光地開発や商品造成、日本から旅行されるお客様の受け入れ体制やホテル客室などの仕入強化のため、次のように海外営業拠点の拡充を進めてまいりました。

【新規開設海外拠点】

- 平成20年3月 ドバイ(UAE)
- 4月 シラチャー(タイ)
- 6月 ミラノ(イタリア)
- 8月 アムステルダム(オランダ)
- 9月 シアトル(アメリカ)、ホノルル カヘカ(アメリカ)
- 11月 ハイナン(中国)
- 12月 セブ(フィリピン)
- 平成21年1月 カイロ(エジプト) 現在 33ヶ国71都市82拠点

ウォーターマークホテル札幌 12月開業



〈ホテル外観イメージ〉

平成20年12月、当社グループが運営する3番目のホテルとして北海道札幌市に「ウォーターマークホテル札幌」を開業いたしました。ビジネスにも観光の拠点としても好適な立地、デザイン性に富んだ内装、高級感の漂う居住空間は、利用されるお客様にきつとご満足いただけるものと思います。また、エレベーターにもカードキーによるセキュリティを備え付けており、女性の一人旅でも安心してお過ごしいただけるホテルとなっております。

会社概要 (平成20年10月31日現在)

商 号	株式会社 エイチ・アイ・エス
英 文 社 名	H.I.S.Co.,Ltd.
本 店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設 立	昭和55年12月19日
資 本 金	68億82百万円
株 主 数	11,468名
従 業 員 数	3,592名

(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)

主要な事業内容 当社は、旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務に従事し、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。

ホームページ <http://www.his-j.com>

会社役員 (平成21年1月31日現在)

取締役会長	澤 田 秀 雄
代表取締役社長	平 林 朗
常務取締役	楠 原 成 基
取 締 役	高 木 潔
取 締 役	和 田 光
取 締 役	行 方 一 正
取 締 役	平 田 雅 彦
常 勤 監 査 役	矢 野 誠
監 査 役	梅 田 常 和
監 査 役	山 本 克

(注) 取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。
監査役 梅田常和氏及び監査役 山本克氏は、社外監査役であります。